

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

おおづ

2
FEBRUARY 2025

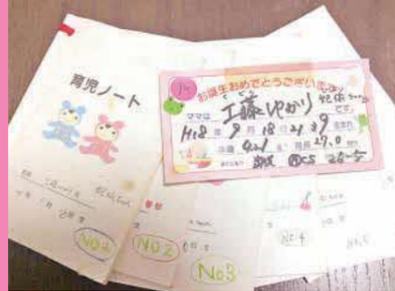
希望と、夢と、未来と

令和7年大津町 二十歳式



clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人

Public relations
OZU TOWN



▲母ゆかりさんの入院中、看護師が妃依さんの様子を記入し、やりとりを行っていた育児ノート。



▲授業の一環で行われる職場体験実習。何事も真面目に取り組むと評判。

たくさんの ありがとうを胸に



くどう ひより
工藤 妃依さん(吹田)

平成18年9月にわずか421グラムで生まれた工藤妃依さん。家族などへ「ありがとう」をテーマにした作文が第7回障がい児者・家族の作文集の高等部門で最優秀賞を受賞した。超低出生体重児として生まれながらも彼女らしく成長し、真つすぐに生きる工藤さんにクローズアップした。

「生まれた日より、大きくなりますように」そんな思いで付けられた名前「妃依(ひより)」。母のゆかりさんは「赤ちゃんの集団検診など、同じ月齢の子が集まる場では焦る気持ちもありました。でも「妃依らしくいればいい」そんな気持ちで子育てをしました」と語る。両親の思いを受け妃依さんのペースで素直に育ち、今では韓国のアイドルグループが大好きな女子高生だ。そんな彼女は小中学校では支援学級と通常学級を行き来する生活だった。周りよりも小さな身体、給食を食べ終わることに時間がかかることも多かった。「通常学級の教室の扉を開けることに抵抗がある日もありました。でも先生が「そんな時は支援学級の教室にいたらいよいよ」と自分の居場所を作ってくれて、話を聞いてくれたりしました。そんな先生や皆さんのサポートがあったから、高校まで無欠席で通学することができました」おっとりとした語り口が責任感が強く、挨拶やお礼も欠かさない。中学校時代の先生とは今でも連絡を取り合う仲だ。18歳を迎え、今年の春から社会人。「自分のお給料でいつか両親を世界一周旅行に連れていきたいです」と語る妃依さんは、素敵な大人への階段を着実に上っているようだ。

こころの声

元日に人生初のぎつくり腰になりました。寝ても座っても痛くて、ぎつくり腰がこんなに辛いとは思いませんでした。元日から痛い思いをして、なんとなく不吉な予感がしたので神社ではお守りを買いました。これで安心だと思いたのですが、結局は自分の健康管理によるものだと思うので、運動や食生活、睡眠を見直していきたいです。今年は健康的な人間を目指すため、まずは適度な運動から始めようと思うのですが、今はまだ寒いので暖かくなつてから始めようと思います。(M.S)



UD
FONT
見やすくて読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

広報 おおづ 2025 2

発行・編集 大津町 総合政策課
〒869-1129 熊本県熊本市大津町大字大津123番地
TEL:096(293)3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 印刷 印刷株式会社